

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム うららびより関ヶ原

2 目標達成計画

作成日:平成 31 年 3 月 8 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	車椅子利用の方や歩行介助の方のトイレ介助の際、内側開き戸のため使い勝手悪く少し開いた状況になる時があり、他の利用者が入ろうとされることもある。	プライバシーへの配慮と利用者の尊厳遵守	*トイレ内洗面所と便器の間にカーテン設置し気配に気を配りながら待機する。 * 普段の何気ない介助支援についても尊厳、プライバシー保護の観点から見直すための研修、勉強会をもつ。	12ヶ月
2	35	2F利用者の緊急避難方法の実効性を高めるために、どのように地域近隣の方々から協力が得られるか。	東町隣組の方々に避難訓練参加いただき協力体制を作る。	* 地域総会に参加しホーム高齢者の緊急避難時助けてほしい具体策をアナウンスする。 * 推進会議の参加を区長など世話役通じ隣組の方々にホーム内に入ってきてもらう事から始める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。